

様式 F-7-1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成25年度）

1. 機関番号 

4	2	6	7	6
---	---	---	---	---

      2. 研究機関名 大妻女子大学短期大学部
3. 研究種目名 基盤研究(C)      4. 補助事業期間 平成23年度～平成27年度
5. 課題番号 

2	3	5	7	0	0	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 分裂酵母新規DNA領域局在化RNA群の解析

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
20294548	タケウチ トモコ 竹内 知子（安東知子）	家政科	准教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

遺伝情報は、遺伝子の本体であるDNAからRNAに写し取られて発現する。したがって、RNAの細胞内局在化は、遺伝子発現を時空間的に制御するための重要な現象である。本研究は、我々が発見した多数の新規局在化RNAのうち、核内のDNA領域に局在するRNA群について、局在化に必要なRNA配列や局在化機構を明らかにすること、および局在化の生理的意義を解明することを目的とし、局在化RNAの全貌解明に貢献することを目指している。

本年度は、B1199の局在について、新たな実験環境の下で、タグーGFP法を用いて確認を行なった。バックグラウンドレベルが高く苦労したが、試行錯誤の末、たしかにDNA領域に局在を観察することができた。また、F958についても、同じく新たな実験環境の下でDNA領域への局在を確認することができた。F958については、引き続きゲノム上の局在化配列の破壊を目指して新たな実験を行ない、12個のマーカ－陽性の候補株を得たが、PCRの結果、これらの中に目的の破壊株が含まれていないことがわかった。